

太地町×自動運転



～ スローモビリティで街中の高齢者にやさしい移動環境 「自動運転」 が令和4年11月1日から地域に実装～

■ 概要

- 太地町では、令和3年度内閣府未来技術社会事業に応募し、「自動運転やドローン等未来技術を活用した高齢者が幸せを感じるまちづくり事業」が採択されました。
- 令和4年度に自動運転や車載カメラを活用した見守りサービスを実装するため、令和4年8月～9月の2か月間に実証実験を行い、構想からわずか1年5ヶ月でサービスを開始しました。
- 太地町の高齢化率は約45%で、高齢者が安心して暮らせるように整備されました。
- 町役場をスタートし、町営じゅんかんバスでは運行できないエリアを中心に、漁協スーパー・老人憩いの家・病院等を周回する1周3.2km所要時間約45分のルートで、2台体制（1日18便）で運行しています。
- フリー乗降性でタクシーのように手を挙げていただければ止まり、太地町のテーマソングで接近をお知らせします。
- 車両はヤマハ発動機製のランドカーで、道路に埋められた電磁誘導線に沿ってゆっくり走ります。

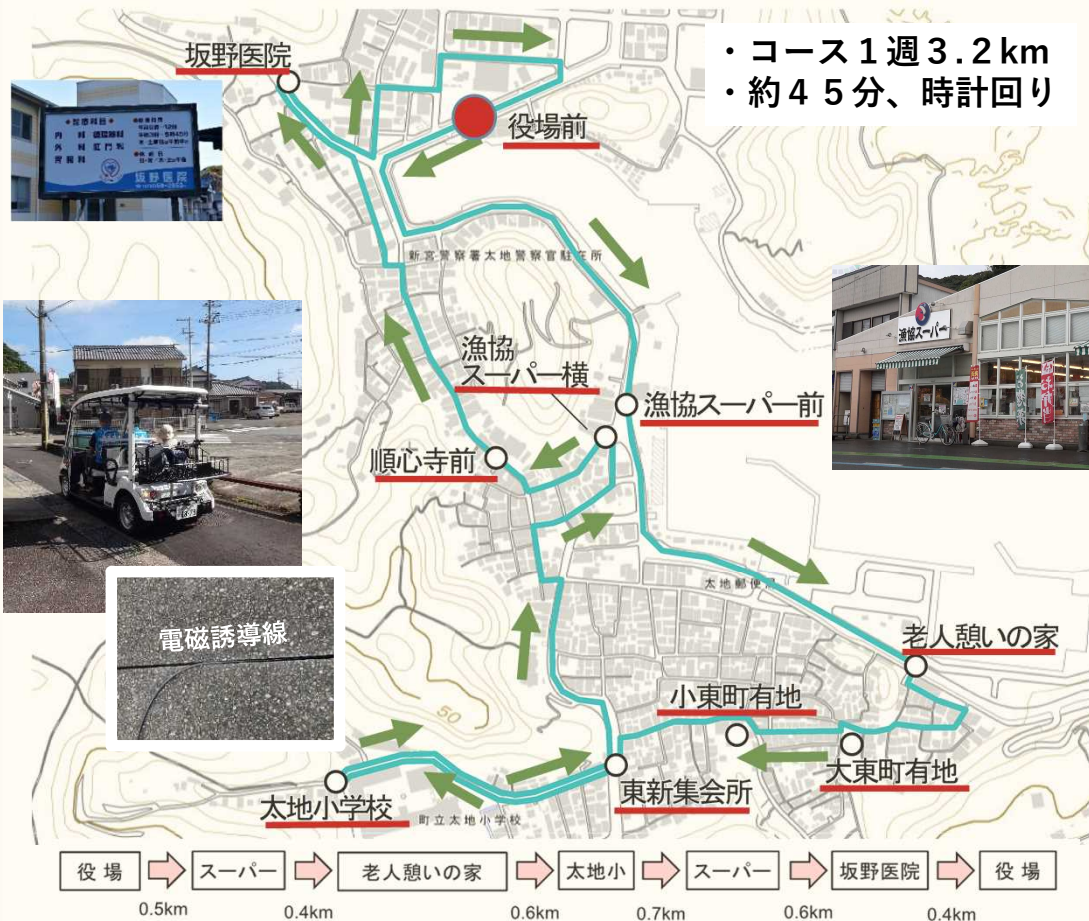


- 太地町の住宅密集地の道路事情に合わせてコンパクトサイズが採用されました。
- 手動では運転が難しい狭路でも、自動運転であれば安全を確保した走行が可能です。



- 自宅前や目的地などのバス停以外でも乗降ができ、利便性が高いのも特徴です。
- ※出典) SIPcafe ～自動運転(自動運転見聞録)～ から引用

■ 走行ルートと自動運転車両



- ・定員：乗客4名
- ・速度：12km/h程度
- ・導入台数：2台(1日18便)
- ・運賃：無料
- ・利用状況：平均20.4人/日

電磁誘導線

※出典) 太地町資料より

1) 太地町が描く町のビジョン

- ▶ 太地町役場は、社会的弱者に対してのまち作りを重点的に行うべきと考え、2004年(平成16)から3年間、職員が一人暮らしの高齢者のお宅訪問を行いました。
- ▶ 中には「葬式代を貯めている。子どもに迷惑かけたくない」と我慢して健康を害しながら生活をしている高齢者の方がいらっしゃり、その実情が町長や役場の職員に大きな影響を与え、「誰もが手を携えてもらいたい時に、誰にも手を携えてもらえない挫折感は、言葉にできないものがあります。だからこそ高齢者をまちが守っていく必要があり、責任を持ってまち作りをしていく必要がある」と、国民年金で生活できるように環境を整備するなど、高齢者にやさしいまち作りを進めています。
- ▶ そのために、自動運転サービスはなくてはならないツールなのです。



2) 約1年半で構想から実装まで 和歌山県の太地町で実現できた理由

- ▶ 滋賀県東近江市の自動運転の事例を見に行きました。ゴルフ場などでも走っているランドカーを用いた自動運転サービスはそれほど難しくはないので、やる気がある地域は独自に実装できると感じていました。実装が前提だったのでできたのだと思います。
- ▶ この事業は内閣府の未来技術社会実装事業に応募して採択を受けています。地域実装協議会を立ち上げ、紀南河川国道事務所・和歌山県・ヤマハ発動機さん、関係者の皆さんには太地町に足を運んでいただいて、「このルートは走らせるかな」とみんなで歩き回ったんです。それを元に図面に落とし込んで、警察に「和歌山県初ですが、このような形で進めさせてもらってもいいですか」と安全対策などをお話ししました。

3) 狭いところを走れるレベル2がちょうどいい

- ▶ 狭いところを走るには、半自動のハイブリッド的なレベル2がちょうどいいんです。太地町は和歌山県30市町村の中で一番面積小さく、全国でも12、13番目に小さいまちです。クルマ1台がぎりぎり通れるかどうかといった細い道が多く、そこに高齢者がお住まいです。
- ▶ 狭いところを走ることができ、手動運転でも難しいところをサポートしてくれ、ゆっくり走る。地域の見守りを含めて日々みなさん元気でお過ごし、人が乗って確認することができるレベル2のランドカーがちょうどいいです。
- ▶ はじめは7人乗りを想定していたのですが、道幅が狭くて導入が難しく、5人乗りになりました。実証実験のときに1台で45分に1回走るようにしたら、乗り切れないことがあるのがわかりました。また、まちの中心にある漁業スーパーで買い物をしたおじいちゃんおばあちゃんに「店の中でバスをどれぐらい待っているんですか」と聞くと、「30分話している人はたくさんいるよ」という声がありました。
- ▶ 20分に1本走らせれば、満車で乗れなくても、20分程度なら待ってもらえるだろうということで2台体制にしました。
- ▶ よく利用される方は、この車両のことを”マイカー”って言ってくださいます。最初は社会的受容性の問題を気にしていましたが、わずか3カ月で受入れられてきていると感じています。

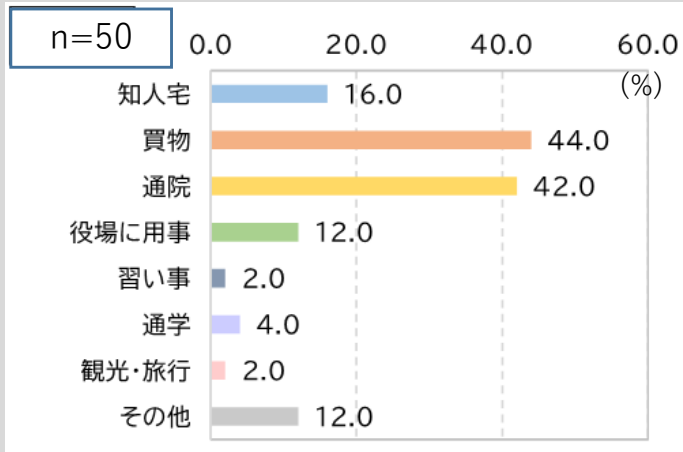


～ 自動運転走行ルートに沿道地区アンケートの結果～

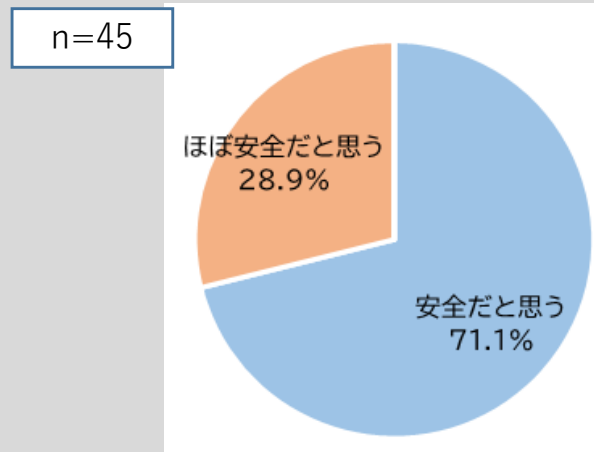
- 対象地区：水之浦、寄子路、新屋敷、小東、大東
- 調査方法：全戸への郵送配布・郵送回収方式
- 実施期間：2022年10月3日（月）～10月24日（月）
- 調査結果：以下（抜粋）

概ね、すべての項目で利用者の満足を得ている状況です。

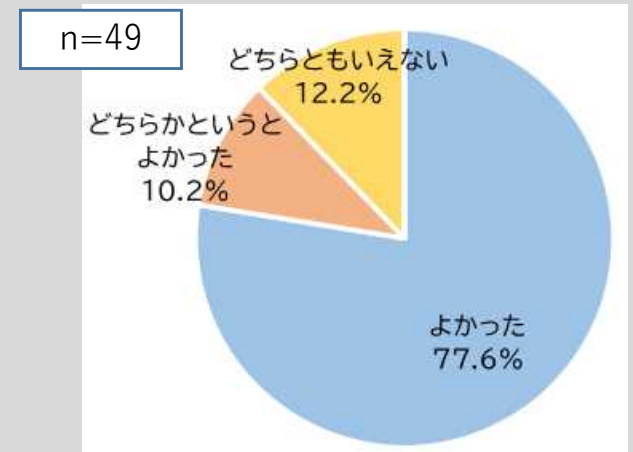
(1)ご利用時の主な目的を教えてください。



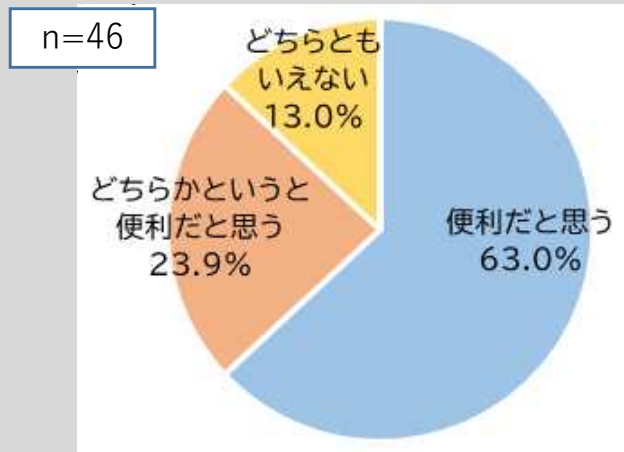
(2)安全な乗り物だと思いましたか。



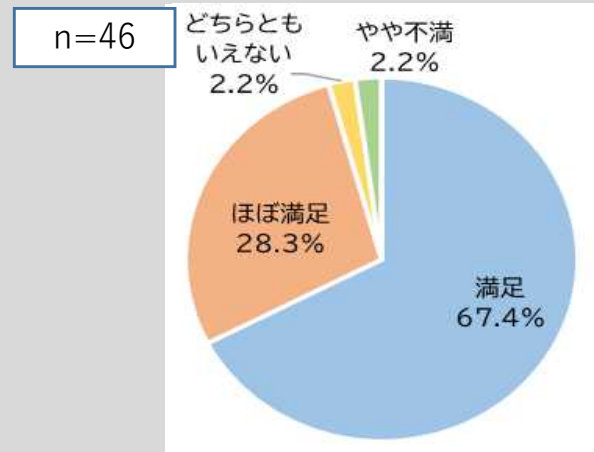
(3)車両の乗り心地はいかがでしたか。



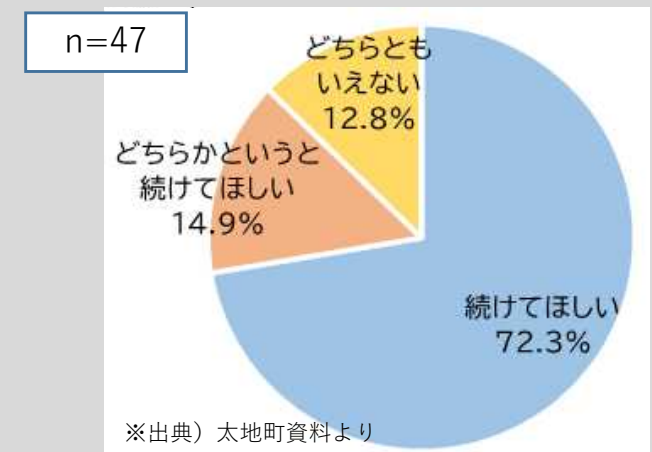
(4)移動手段として便利だと思いますか。



(5)自動運転サービスに満足できましたか。



(6)今後も自動運転を続けてほしいと思いますか。



※出典) 太地町資料より

